

榎田ふき （ふきだ） 婦人運動家。明治二十二年一月十七日山口縣生乳（八九一）。大正六年日本女子大學中退。經濟學者榎田民藏と結婚し、昭和九年死別。十六年雑誌『栄養と料理』編輯長。戦後日本共産黨に入り、婦人民主クラブ結成に参画、二十四年委員長となる。また日本婦人團體連合會會長、新日本婦人の會代表委員等も務めた。

著書『平和へのねがい』『よい世界をつくる婦人の力』（榎田ナキ名、昭和二十五年四月十日日本民主婦人協議會）、『現代女性十講』（榎田ナキ名、合著、昭和二十五年十一月十五日チウカ社）、『わたくしんのはな』『そのなかの』『わが歩いた道』（昭和四十年二月一日新読書社）、『愛と希望の星みつめて』（昭和六十二年四月二十五日新日本出版社）、『八度目の年おんな』（平成七年二月二十日岩波書店）等。



八度目の年おんな ■ 榎田ふき

愛と希望の星みつめて 榎田ふき

新日本出版社

愛と希望の星みつめて

榎田ふき

女の幸せと
平和求めてひとすじに
いま、生きて輝いて、

新日本出版社 定価1200円